

■ ICT土工に必要となる3次元図面の作成方法や、その活用方法等を学びました。



パソコンを用いてICT土工に必要となる2次元設計から3次元設計への図面作成や3次元起工測量データ処理の方法を操作実習により学んだほか、タブレット端末を用いて構造物の位置出し、丁張、敷高の検測等を行う等、生産性向上のための測量機器の活用方法について学びました。

- 1 日時 令和元年10月1日（火）
- 2 場所 建設ICT人材育成センター
（大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階）
- 3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の社員（3次元データ作成初心者）
- 4 参加者 17社 25名
- 5 内容

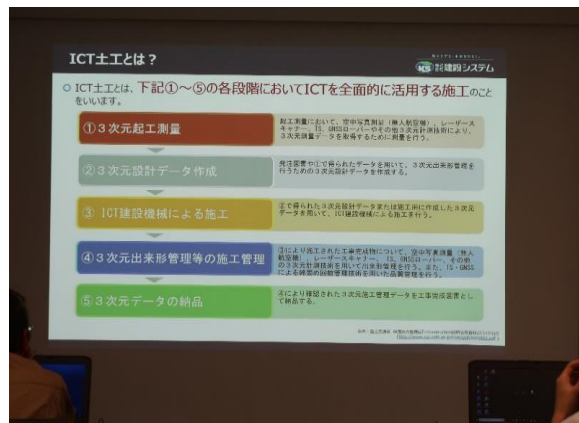
時 間	研 修 内 容	講 師
9:30～10:00	（受付）	
	「ICT土工一括研修（その2）～3次元設計データ作成編～」	
10:00～10:30	3次元設計を取り巻く環境	㈱建設システム （アシスタント2名）
10:30～12:00	3次元起工測量データ処理 2次元設計から3次元設計の図面作成【基礎編】	
12:00～13:00	（昼休憩）	
13:00～16:30	2次元設計から3次元設計の図面作成【応用編】 3次元設計を現場で活用する実習	
16:30	閉講（アンケート記入後）	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 6ユニット（認定講習）

8 研修状況



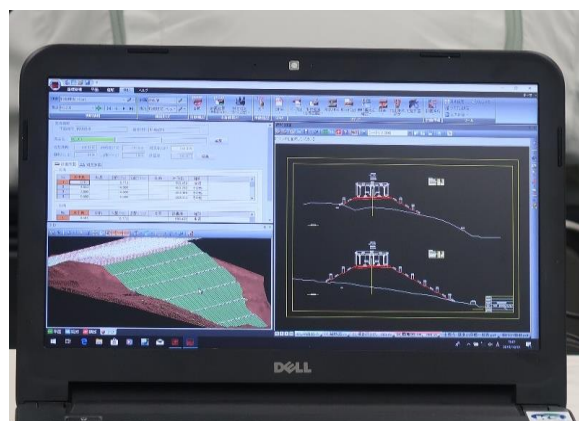
講師
株式会社 建設システム 高木 啓 氏



“3次元設計を取り巻く環境”を講義により知り、3次元設計を活用したICT施工の手順等について把握しました。



講師アシスタント2名にも補助を頂きながら、2次元図面データ（平面図、縦断面図、横断面図、線形データ、座標データ）を使用し“3次元設計図面”の作成を行いました。



“2次元設計から3次元設計の図面作成体験”
実際の3次元データ作成ソフトを使用し、自身で3次元設計データを作成することができました。



“3次元設計を現場で活用する実習”として、効率的に構造物の位置出し等を行う方法をデモンストレーションにより学びました。



タブレット端末を用いて構造物の位置出し、丁張、敷高の検測等を行う等、生産性向上のための測量機器の活用方法について動画により学びました。

9 受講者の感想

- ・ 2D図面から3D図面にするときICTによってこんなに効率化、正確化できることに関心しました
- ・ 実際に使用するソフトを使い実演しながら講義を受けることができ、分かりやすかった
- ・ リアルに3D化することがすごいと思った
- ・ パソコンを使っでの実習がよかった
- ・ 説明を聞きながら作業できたのでわかりやすかったです
- ・ データ作成が容易に行えることに驚きました
- ・ 今まで3Dでの図面を作成する際は、平面、縦断、横断を一つずつ測って一から図面を作成していたので、こんなに簡単に図面作成ができるのなら今後使っていきたいと思いました
- ・ 実際にデータ作成を行い分かりやすかった。使用する機会があったら思い出取り組みたい